

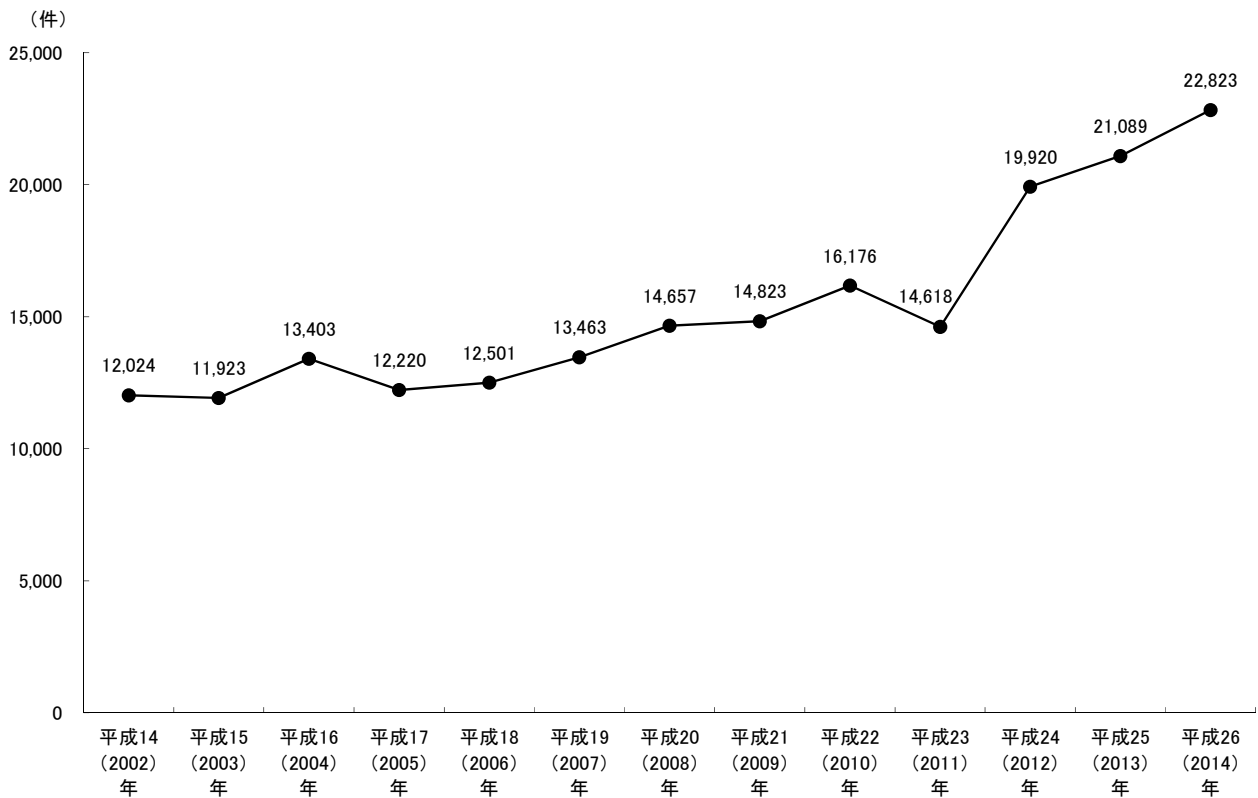
IV 人権が尊重される社会の形成

IV-2 性暴力ストーカー等の防止

1. ストーカー事案の認知状況

警察が認知したストーカー事案の件数は、平成 23 (2011) 年 (14,618 件) 以降増加しており、平成 25 (2013) 年は 2 万件 (21,089 件) を超え、平成 26 年は 22,823 件となっている。

図表IV-2-1 ストーカー事案の認知件数の推移 (全国)



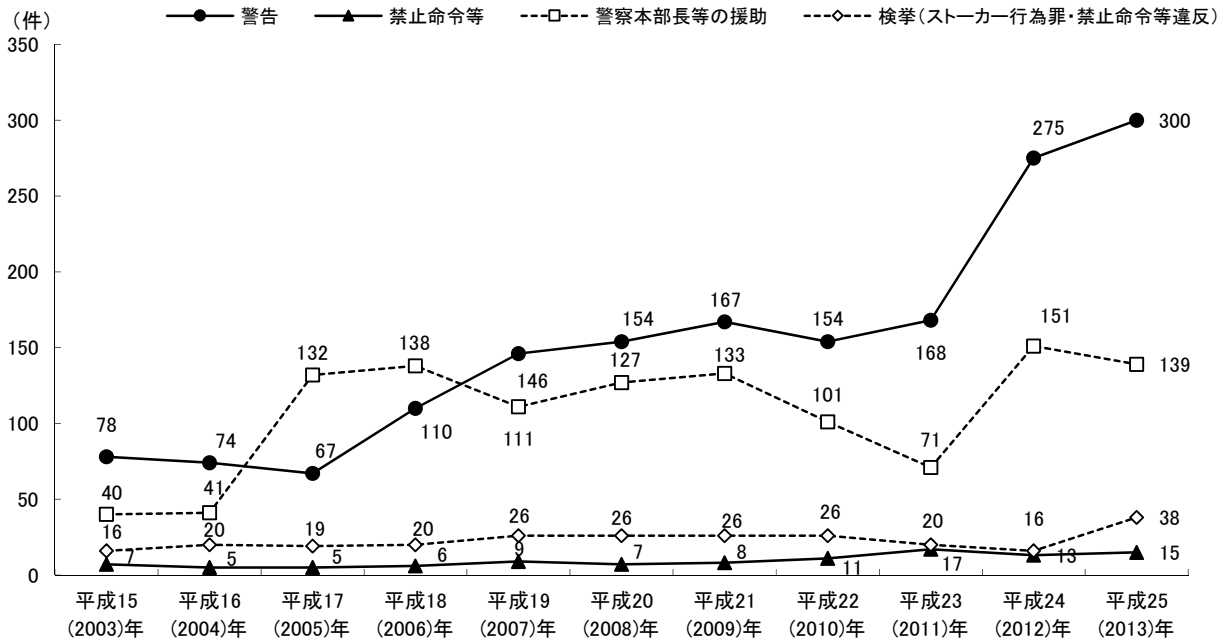
注：認知件数には、執拗なつきまといや無言電話等のうち、ストーカー規制法やその他の刑罰法令に抵触しないものも含む。

資料：警察庁「平成 26 年中のストーカー事案及び配偶者からの暴力事案の対応状況について」

2. ストーカー規制法の適用状況

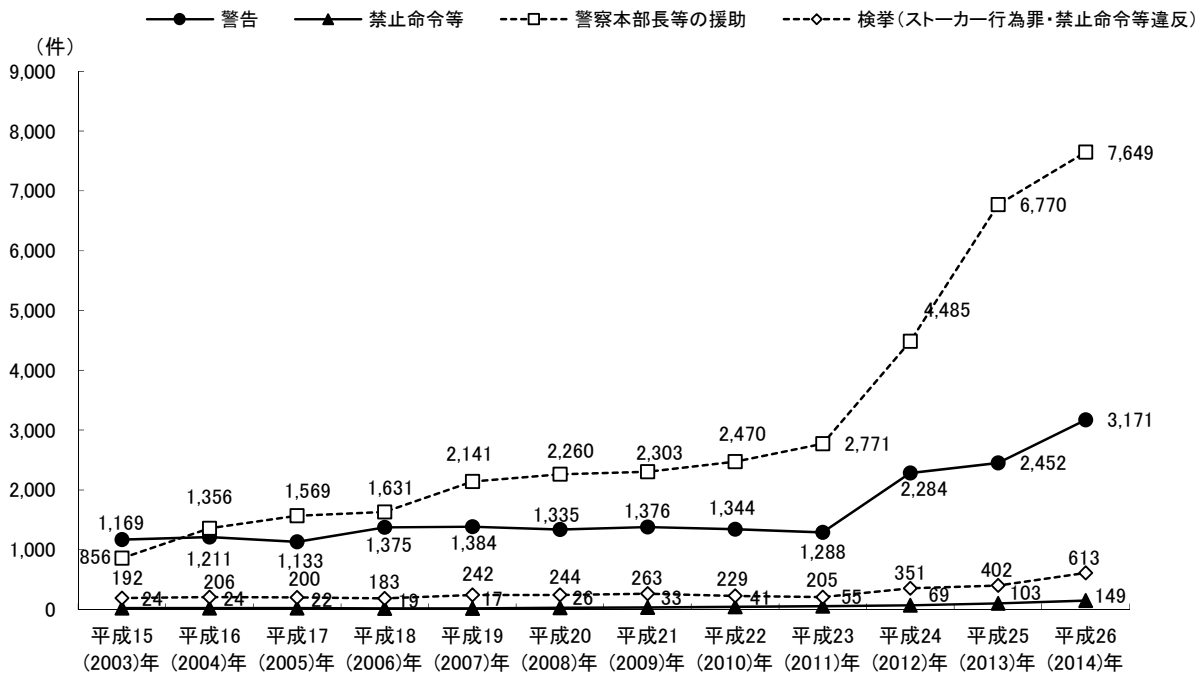
ストーカー規制法の適用状況をみると、都では平成 25 (2013) 年には「警告」が 300 件で最も多く、次いで「警察本部長等の援助」が 139 件であった。全国では平成 26 (2014) 年には「警察本部長等の援助」が 7,649 件で最も多く、次いで「警告」が 3,171 件であった。

図表Ⅳ－２－２ ストーカー規制法の違反等措置状況の推移（都・全国）
 <都>



資料：警視庁「警視庁の統計（平成 25 年）」

<全国>



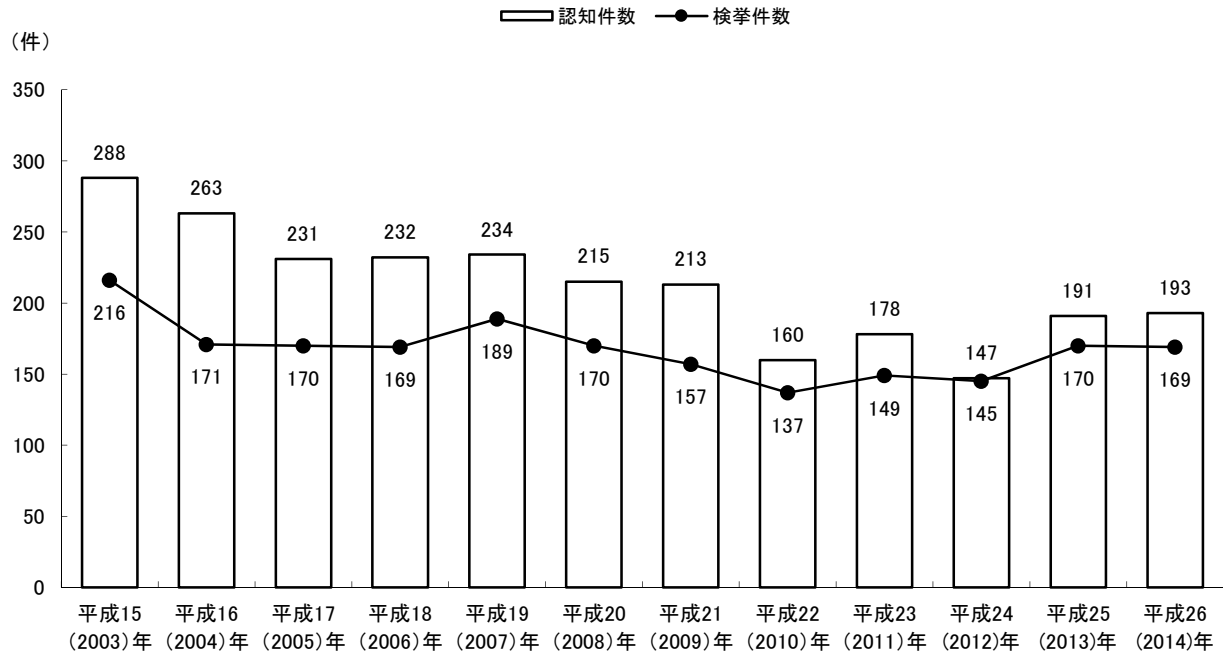
資料：警察庁「平成 26 年中のストーカー事案及び配偶者からの暴力事案の対応状況について」

IV 人権が尊重される社会の形成

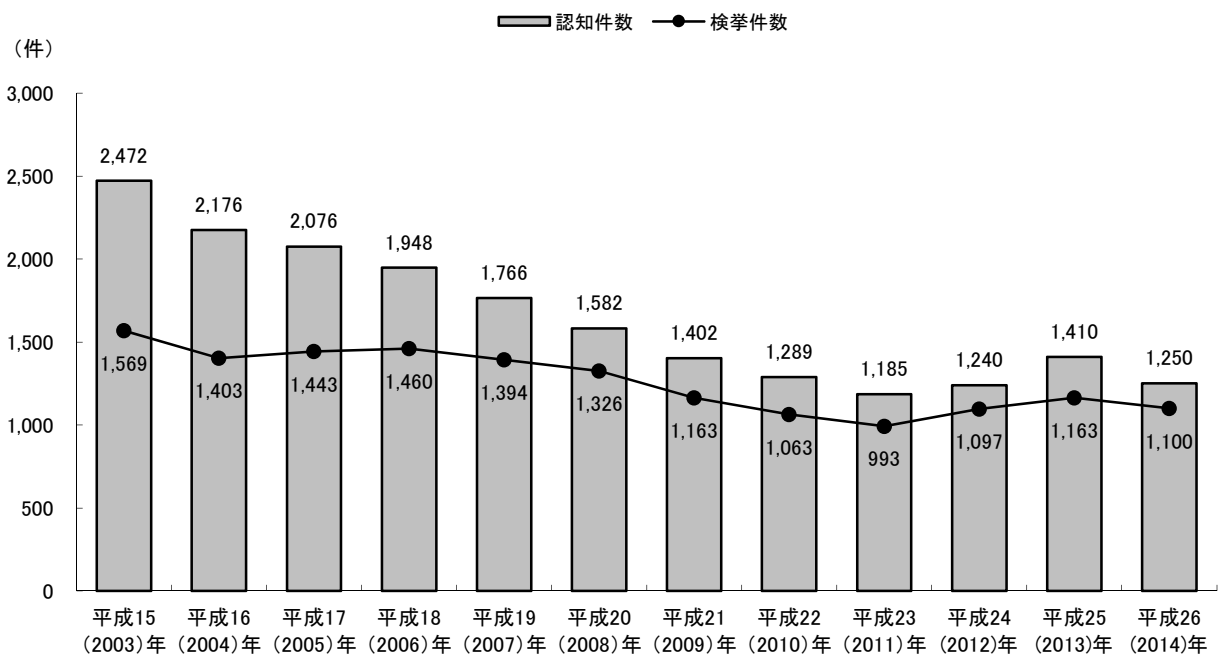
3. 強姦、強制わいせつ事件の認知件数及び検挙件数

平成 26（2014）年の強姦事件の認知件数と検挙件数は、都では認知件数が 193 件、検挙されたのは 169 件である。全国では認知件数が 1,250 件、検挙されたのは 1,100 件である。

図表Ⅳ－２－３ 強姦事件の認知件数と検挙件数の推移（都・全国）
 <都>



<全国>

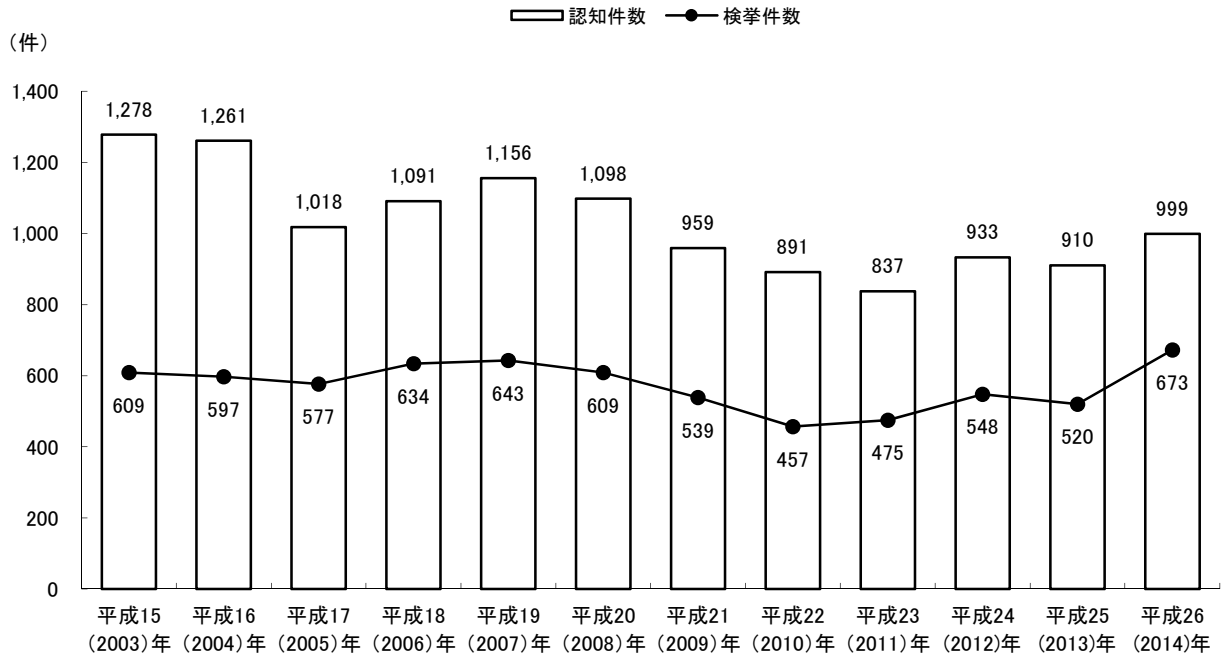


資料：警察庁「犯罪統計資料」（平成 26 年）

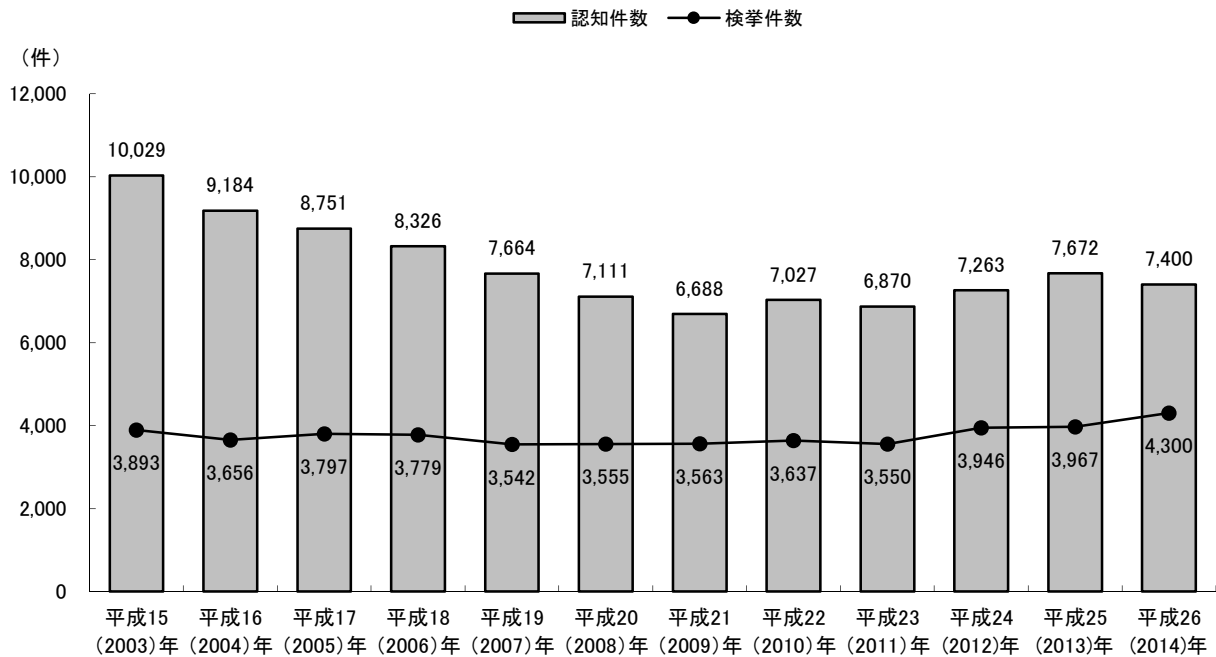
平成 26 (2014) 年の強制わいせつ事件の認知件数と検挙件数は、都では認知件数が 999 件、検挙されたのは 673 件である。全国では認知件数が 7,400 件、検挙されたのは 4,300 件である。

図表Ⅳ－２－４ 強制わいせつ事件の認知件数と検挙件数の推移 (都・全国)

<都>



<全国>



資料：警察庁「犯罪統計資料」(平成 26 年)